

令和3年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530席）、練習室（2室）、文化交流室（1室）、楽屋（4室）		
指定管理者	6期目	R3.4.1～R8.3.31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	5期目	H28.4.1～R3.3.31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4期目	H25.4.1～H28.3.31	㈱不二ビルサービス
	3期目	H23.4.1～H25.3.31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	(財) 県民センター
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	(財) 県民センター

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	6期	R3	63.0%	46.9%	△8.0%	△16.1%	(74.4%)
5期平均	H28～R2	65.0%	54.9%	1.6%	△10.1%	(84.4%)	
4期平均	H25～H27	58.0%	53.3%	1.6%	△4.7%	(91.8%)	
3期平均	H23～H24	58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)	
2期平均	H20～H22	58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)	
1期平均	H17～H19	60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)	
(導入前)	H16	—	57.4%	—	—	—	
増減理由	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用申込が減少し、緊急事態宣言や県の集中対策期間のキャンセルが相次いだため、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較してホール利用率は減少し、目標値を下回った。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	アンケート（受付にて用紙を配布・回収）	利用者（主催者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	利用者の満足度は高いが、一部、各部屋の温度設定について意見あり。	各部屋の温度設定は管理事務所で一括管理しており、要望を受けて対応している。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	—	
現地調査及び管理運営会議 (随時実施)	【特記事項等】 新型コロナウイルス感染症対策について 【指定管理者の意見】 新型コロナウイルス感染症対策として、インターネット環境の整備などを行った。 【県の対応】 新型コロナウイルス感染症対策に要した費用を負担するとともに、開館に向けたガイドラインを策定し、適切な施設運営を指導した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	6期	R3				6期	R3		
県委託料 (決算額)	5期平均	H28~R2	57,750	485	料金収入 (決算額)	5期平均	H28~R2	27,699	△2,242
	4期平均	H25~H27	57,265	859		4期平均	H25~H27	29,941	2,014
	3期平均	H23~H24	56,406	△815		3期平均	H23~H24	27,927	△994
	2期平均	H20~H22	57,221	△4,774		2期平均	H20~H22	28,921	△266
	1期平均	H17~H19	61,995	△14,777		1期平均	H17~H19	29,187	△2,046
	(導入前)	H16	76,772	—		(導入前)	H16	31,233	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R3 決算額	R2 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	61,129	65,091	△3,962	利用料収入の増による追加委託料の減 ・令和2年分(R2.3~R3.3)：9,091千円 ・令和3年分(R3.4~R4.3)：4,129千円
	料金収入(※1)	21,436	14,624	6,812	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上でのホール等利用増加による増
	その他収入	3,143	3,031	112	
	計(A)	85,708	82,746	2,962	
支出	人件費	20,268	17,419	2,849	新型コロナウイルス感染症の影響下で利用率向上のための営業活動の強化による増
	光熱水費	10,199	8,211	1,988	施設利用増加による増, 光熱費単価の増
	設備等保守点検費	1,966	1,966	0	
	清掃・警備費等	35,251	40,837	△5,586	機械警備の導入, 業務内容の見直しによる減
	施設維持修繕費	7,131	4,325	2,806	前年度減収に伴い見送った修繕の実施等による増
	事務局費	3,403	3,209	194	
	その他	3,295	3,750	△455	
	計(B)	81,513	79,717	1,796	
収支①(A-B)		4,195	3,029	1,166	
調整額(C)(※3)		0	△1,914	1,914	
調整後収支②(A-B+C)		4,195	1,115	3,080	
自主事業(※2)	収入(D)	1,387	1,355	32	
	支出(E)	5,028	4,385	643	
	収支③(D-E)	△3,641	△3,030	△611	
合計収支(②+③)		554	△1,915	2,469	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

※3 調整額：令和2年度に措置した、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理委託料の増額分のうち、令和元年度分(令和2年3月分)について、令和2年度の収支から除いて調整した額

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	通常の貸館業務に加えて、ピアノ利用開放や無料の楽器体験などの自主事業を実施し、県民に文化的活動ができる場を積極的に提供した。	音楽関連の事業者を構成企業に持つ指定管理者の強みを生かした自主事業を展開し、県民の文化振興に貢献している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	ホールでのオンライン配信や会議室での利用を考慮し、インターネット回線を整備した。	新型コロナウイルス感染症の影響下でも時節に応じた環境整備により、利便性の向上に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	ホールを2か月以内に予約した場合は、利用料金を割引するサービスを実施するなど、直前の利用も促進することで、利用率の向上に努めた。	予約確保の増加策など、利用率の向上を目的とした工夫ができています。
	○施設の維持管理	委託業者などの関係者と緊密に連携を取り、修繕必要箇所には、早急に対応することなどにより施設の維持管理に努めた。	施設について施設関係者間で情報共有を行い、早急に対処することで、利用者の安全性の確保に努めるなど適切な維持管理を実施している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	構成企業間で連携し、業務量に応じた適切な人員配置を行った。	適切な人員配置による運営を行っている。
	○効率的な業務運営	機械警備を導入したことにより夜間警備の人件費を削減できたほか、清掃・警備委託業務の内容を見直し、効率化すること等により、経費削減に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響による収入減の中でも、収支の適正化に向けて積極的に取り組んでいる。
	○収支の適正		
総括		新型コロナウイルス感染症の影響による貸館利用のキャンセルなどにより利用料金収入は通常時よりも減収となった。一方、インターネット回線を整備し、利用者サービスの向上に努め、業務内容を見直すことで、収支の適正化に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、施設の設置目的に沿った事業やサービスの提供により利用者増加に努めており、収支においても、業務内容の見直し等による経費の削減ができています。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和4年度)	新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、インターネットの活用や、少人数で活用できるホールの利用について取り組みを進める。また、業務の見直しを継続し、更なる経費の削減に努める。	福山城築城400年であることから、歴史文化の発信を踏まえた事業など、施設の利用促進につながるような事業の情報提供を行う。
中期的な対応	各種団体と連携し地域の伝統文化を掘り起こし、発表の場を提供することを継続的に行っていく。	施設間で連携し、創意工夫や相互協力ができる環境の整備を目的に構築した公立文化施設ネットワークを活用し、施設の有効利用について検討する。